

第9期(平成26年3月期) 決算説明資料

平成26年6月10日



阪神高速道路株式会社

当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **3,293億円**（前年同期比+929億円）、営業損失 **14億円**（前年同期は営業利益25億円）、経常損失 **9億円**（前年同期は経常利益31億円）、当期純損失 **19億円**（前年同期は当期純利益17億円）となりました。

なお、当期純損失は、「緊急修繕」の一部について、利益剰余金の活用を前提に、日本高速道路保有・債務返済機構（以下「機構」といいます。）への債務の引渡しを行わないで機構に帰属する道路資産を形成する事業を実施したことによるものです。

事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

高速道路事業

- ◆ 阪神高速道路の一日当たり平均通行台数は、約74万台（前年同期比2.3%増）と増加傾向となったことにより、料金収入は1,733億円（前年同期比1.7%増）
- ◆ 道路資産完成高は1,427億円（前年同期比176.8%増）
- ◆ 道路資産賃借料は1,316億円（前年同期比3.0%増）
- ◆ 「緊急修繕」の一部について、利益剰余金の活用を前提とした事業を実施したことにより、32億円の損失を計上
- ◆ この結果、営業収益は3,167億円（前年同期比42.2%増）
営業費用は3,185億円（前年同期比44.4%増）
営業損失は18億円（前年同期は営業利益21億円）となりました。

受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、
営業収益は85億円（前年同期比8.7%減）
営業費用は86億円（前年同期比8.5%減）
- ◆ この結果、営業損失は34百万円（前年同期は営業損失21百万円）となりました。

その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業等を展開したことにより、
営業収益は42億円（前年同期比6.3%減）
営業費用は38億円（前年同期比7.6%減）
- ◆ この結果、営業利益は4億円（前年同期比8.0%増）となりました。

高速道路事業

主な増減内容

単位: 億円(単位未満切捨て)

区 分		26年3月期	25年3月期	増減
営業収益	料金収入等	1,739	1,711	+28
	道路資産完成高	1,427	515	+911
		3,167	2,227	+939
営業費用	道路資産賃借料	1,316	1,277	+38
	道路資産完成原価	(注) 1,460	528	+931
	管理費用	409	399	+10
		3,185	2,205	+979
高速道路事業 営業利益		▲ 18	21	▲ 39

● 営業収益

- ・通行台数は、一日当たり約74万台
(前年同期比2.3%増)
- ・料金収入は、通行台数増加の影響等により1,733億円
(前年同期比29億円増)
- ・道路資産完成高は、淀川左岸線の新規供用等により1,427億円
(前年同期比911億円増)

● 営業費用

- ・協定に基づく道路資産賃借料
1,316億円(前年同期比38億円増)
- ・管理費用は、新規供用及び安全総点検の実施等に伴い、
409億円(前年同期比10億円増)

(注)平成24年度補正予算(緊急経済対策)の一環として位置づけられた「緊急修繕」の一部につきまして、高速道路事業に係る利益剰余金の活用を前提に、機構への債務の引渡しを行わないで機構に帰属する道路資産を形成する事業を実施し、これに要する費用に相当する額32億円を仕掛道路損失引当金として道路資産完成原価に計上しています。

関連事業

主な増減内容

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		26年3月期	25年3月期	増減
受託事業	営業収益	85	93	▲ 8
	営業費用	86	94	▲ 8
	営業利益	▲ 0	▲ 0	▲ 0
その他の事業	営業収益	42	45	▲ 2
	営業費用	38	41	▲ 3
	営業利益	4	3	+ 0
関連事業 営業利益		3	3	+ 0

●受託事業
 大阪府道高速大和川線に係る工事等により、営業収益は85億円（前年同期比8億円の減）、営業費用は86億円（前年同期比8億円の減）となり、営業損失は34百万円（前年同期は営業損失21百万円）

●その他の事業
 営業収益は42億円（前年同期比2億円の減）、営業費用は38億円（前年同期比3億円の減）となり、営業利益は4億円（前年同期比30百万円の増）

（注）関連事業の「その他の事業」には、休憩所等事業、駐車場事業、道路マネジメント事業、発生土再生活用事業等を含んでおります。

当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表			
区分	26年3月期	25年3月期	増減
総資産	2,228	3,305	▲ 1,076
流動資産	1,765	2,841	▲ 1,075
(うち仕掛道路資産)	1,209	2,044	▲ 834
固定資産	463	463	▲ 0
総負債	1,892	2,908	▲ 1,015
流動負債	545	1,153	▲ 607
固定負債	1,346	1,754	▲ 407
純資産	336	397	▲ 61
株主資本	378	397	▲ 19
資本金	100	100	-
資本剰余金	100	100	-
利益剰余金	178	197	▲ 19
その他の包括利益累計額 <small>(注)</small>	▲ 41	0	▲ 41

連結損益計算書			
区分	26年3月期	25年3月期	増減
営業収益	3,293	2,364	+929
営業費用	3,307	2,338	+968
営業利益	▲ 14	25	▲ 39
営業外収益	5	7	▲ 1
営業外費用	0	0	▲ 0
経常利益	▲ 9	31	▲ 41
特別利益	0	2	▲ 1
特別損失	0	0	▲ 0
税引前当期純利益	▲ 9	32	▲ 42
法人税等	9	15	▲ 5
当期純利益	▲ 19	17	▲ 36

(注)退職給付に関する会計基準の改正に伴い、「その他の包括利益累計額」が41億円減少しております。

平成27年3月期 連結業績の見通し

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		27年3月期 見通し	26年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,158	3,167	▲ 1,008
	料金収入等	1,748	1,739	+9
	道路資産完成高	409	1,427	▲ 1,018
	関連事業	239	128	+110
		2,397	3,293	▲ 895
営業 費用	高速道路事業	2,152	3,185	▲ 1,032
	道路資産賃借料	1,341	1,316	+25
	道路資産完成原価	409	1,460	▲ 1,050
	管理費用	402	409	▲ 7
	関連事業	234	124	+109
	2,387	3,307	▲ 920	
営業利益		10	▲ 14	+25
	高速道路事業	5	▲ 18	+23
	関連事業	4	3	+1
経常利益		8	▲ 9	+18
当期純利益		8	▲ 19	+28

連結業績の見通し

当期純利益は、親会社の利益1億円に連結子会社の利益等6億円を加えた8億円となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた平成26年度事業計画に基づいています。

(注) 平成27年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

平成27年3月期 個別業績の見通し

単位:億円〔単位未満切捨て〕

区 分		27年3月期 見通し	26年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	2,156	3,160	▲ 1,004
	料金収入等	1,747	1,733	+13
	道路資産完成高	409	1,427	▲ 1,018
	関連事業	198	100	+97
		2,355	3,261	▲ 906
営業 費用	高速道路事業	2,154	3,184	▲ 1,030
	道路資産賃借料	1,341	1,316	+25
	道路資産完成原価	409	1,460	▲ 1,050
	管理費用	403	407	▲ 4
	関連事業	195	98	+97
	2,350	3,283	▲ 933	
営業 利益	高速道路事業	2	▲ 23	+25
	関連事業	2	2	+0
	5	▲ 21	+26	
経常利益	2	▲ 18	+21	
当期純利益	1	▲ 23	+25	

個別業績の見通し

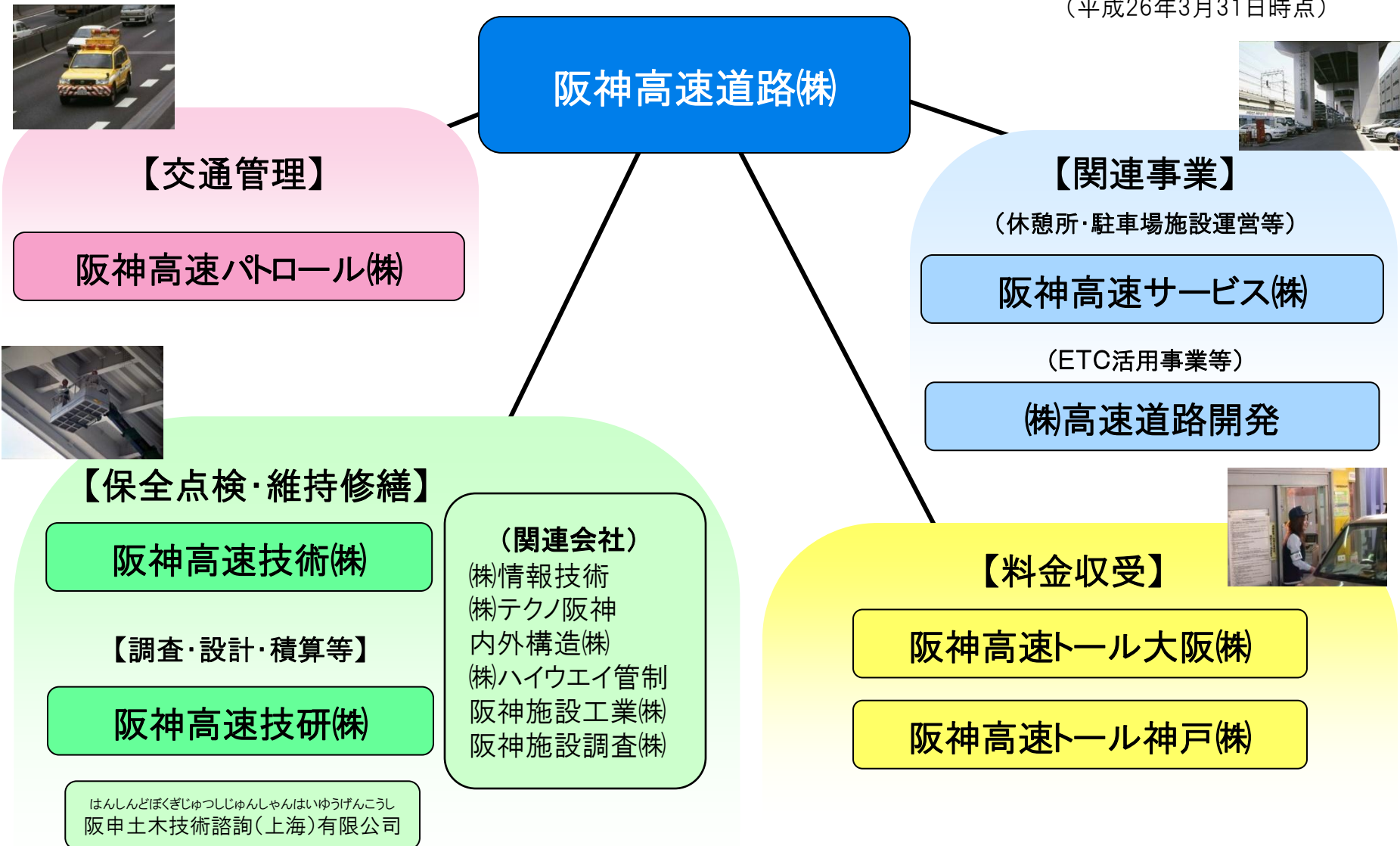
営業収益は、
 2,355億円(前年実績比906億円減)
 営業利益は、
 5億円(前年同期は営業損失21億円)
 当期純利益は、
 1億円(前年同期は当期純損失23億円)
 となる見通しです。

なお、見通し額は国土交通大臣から
 認可を受けた平成26年度事業計画に
 基づいています。

(注) 平成27年3月期の業績見通しには、
 不確定な要因を含んでおり、将来の
 業績等を保証するものではありません。
 実際の業績等については、様々な要
 因により変化するものであることをご承
 知おき下さい。

グループ経営体制

(平成26年3月31日時点)



主なトピックス

1. 道路構造物の老朽化対策

- * 第三者被害発生危険箇所の安全総点検を実施するとともに、阪神高速道路を将来にわたって健全な状態に管理し、お客さまに安心してご利用頂けるよう、老朽化が進んだ構造物等の修繕事業等を実施しました。
- * 「長期維持管理及び更新に関する技術検討委員会」の提言を受け、大規模更新等について検討を進め、「阪神高速道路の更新計画(概略)について」を公表しました。

○安全総点検

- ・橋梁の付属物等全ての構造物を対象に、第三者被害発生危険箇所を洗い出した上で、対象構造物の安全総点検を実施し、緊急性の高い損傷箇所の補修を実施しました。
- ・今回の点検、補修により落下の危険性を有する構造物等を排除し、安全性の確認、向上を図りました。

○緊急修繕事業

- ・コンクリート片・付属物の落下等防止や構造物の疲労・劣化対策などお客さまの安全性を確保するため、老朽化が進んだ構造物等の修繕事業等を実施しました。
- ・新神戸トンネルでは、平成26年3月より終日1車線規制を実施中であり、9月を目途に夜間通行止めにより天井板撤去を実施する予定で関係機関と調整を進めています。

○大規模更新・修繕

- ・最新の損傷状況等を精査し、大規模更新等を実施しなければ通行止めなどの可能性の高い箇所について、1月に「阪神高速道路の更新計画(概略)について」を公表しました。
- ・今後、詳細な計画を策定の上、関係機関と調整し、早期の事業着手を図ります。

【大規模更新】: 全体的な取替(更新)が効率的・効果的な箇所
→ 約5km・約1,500億円

【大規模修繕】: それ以外の箇所
→ 約57km・約2,200億円



ファイバースコープによる狭隘部の点検



新神戸トンネル天井板設置状況



大規模更新実施箇所における損傷事例

主なトピックス

3. 関連事業・新規事業の展開

- * 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託を実施しました。
- * 高架下等の道路空間や保有する資産を有効に活用し、社会のニーズに応えるため、海外事業を含む土木・建築・補償コンサルティング事業、駐車場事業、保有資産有効活用事業、ETC活用事業等を積極的に展開しました。

○周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託

- ・大阪港咲州トンネル(約2.2km、大阪市港湾局:平成21年度より)
- ・夢咲トンネル
(約2.1km、国有港湾施設管理者大阪市港湾局:平成21年度より)
- ・第二阪奈有料道路(約13.4km、大阪府・奈良県両道路公社)
 - ・奈良県側は、平成24年度より維持管理を受託
 - ・大阪府側は、平成25年度より維持管理、平成26年度より交通管理・交通管制も併せて受託



大阪港咲州・夢咲トンネル



第二阪奈有料道路

○道路空間や保有する資産の有効活用

- ・駐車場事業
238箇所で事業を実施
(大阪180箇所、兵庫58箇所)
- ・保有資産有効活用事業
旧社宅用地等を活用し、賃貸住宅事業等を展開。
平成26年3月には、新たに千里中央に賃貸マンション(全80戸)が完成。
- ・路面広告
道路区域外の駐車場で、平成26年4月から9月まで路面広告を試行的に実施



駐車場事業(堂島川駐車場)



賃貸住宅(リファート千里中央)



路面広告(新町駐車場)

主なトピックス

4. 阪神高速開通50周年

- * 阪神高速道路は、昭和39年(1964年)6月28日に大阪1号線(現在の1号環状線)土佐堀～湊町間2.3kmが開通して以来、平成26年(2014年)6月で開通50周年を迎えます。
- * 開通50周年を記念して、5月10日(土)・11日(日)にグランフロント大阪にて「阪神高速展」を開催したほか、50周年当日の6月28日(土)に各パーキングエリアにおいてイベントを開催します。

○「阪神高速展」(5月10日(土)・11日(日)開催済)

グランフロント大阪北館1階ナレッジプラザにおいて、「阪神高速展」を開催し、親子連れ等、延べ1.2万人の方々にご来場いただきました。開通当時の古い写真やレトロカー、最新技術のつまった点検車両等をご覧いただき、阪神高速のこれまでとこれからを感じていただきました。

○開通50周年記念イベント(6月28日(土)開催予定)

・泉大津パーキングエリア 海側(4号湾岸線 北行)

- ①FM局特設サテライトスタジオからの番組公開生放送
- ②開通50年を振り返る写真パネル、子供絵画コンクール作品の展示
- ③お客さまからのメッセージの展示(「50周年賞」のプレゼント進呈式)
- ④レストラン50周年記念メニューを50食限定で500円(税込)にて提供 ほか

・京橋パーキングエリア(3号神戸線 大阪方面行)

- ①足湯コーナーの設置(有馬温泉金泉を使用)
- ②レストラン50周年記念メニューを50食限定で500円(税込)にて提供 ほか

・上記のほか、朝潮橋パーキングエリア(16号大阪港線 環状線方面行)、中島パーキングエリア(5号湾岸線 神戸方面行)においてもレストラン50周年記念メニューの提供等を行います。



「阪神高速展」全景




「阪神高速展」展示



キャラクター
モグラのコージくん

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】

 阪神高速道路株式会社 経理部財務課

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号

TEL: 06-6252-8121(代)

FAX: 06-6251-6930

URL: <http://www.hanshin-exp.co.jp>